

## 震災支援ネットワーク埼玉の取り組みとカンパのお願い ～ 地震や津波では壊されない社会と「人間の復興」を願って ～

震災支援ネットワーク埼玉代表 弁護士 猪股 正

### 1 震災支援ネットワーク埼玉の立ち上げについて

日比谷の年越し派遣村の取り組みをご存知の方も多いと思いますが、2008年秋のリーマンショック以降、派遣切りなどで、仕事と住居を同時に失い、生活に困窮する人が続出しました。埼玉では、反貧困ネットワーク埼玉という市民グループが中心になって、仕事や家を失った方を支援する相談活動を続けてきました。

今回の大震災により、膨大な数の人が仕事や住まいをなくされています。この未曾有の大震災にあたり、私たちにできることはないか、これまでの私たちの取り組みの経験を活かさないか、「とにかくやれるところからやってみよう。」ということになり、反貧困ネットワーク埼玉のメンバーが呼びかけて、3月17日に震災支援ネットワーク埼玉が発足しました。

### 2 さいたまスーパーアリーナでの取り組みについて

3月18日からさいたまスーパーアリーナに入り、19日から30日まで、法律・生活相談、女性相談、足湯とこころの相談、高齢者・障がい者等福祉相談など、相談支援活動を続けてきました。相談件数は、12日間で1349件（法律・生活相談548件、女性相談200件、足湯とこころの相談489件、高齢者・障がい者等福祉相談112件）に及び、相談内容は、預金の引出方法、身分証明の方法、生活費の不足、住宅問題、ローンの支払い、原発による被害の補償、賃金不払いなど労働問題、性的被害などの女性問題、施設入所、学校教育関係など、非常に多岐にわたる平時にはない相談が多数寄せられました。

1日50人～100人、31日までの14日間で、延べ800人を超えるメンバーがボランティアとして、相談支援活動に参加してくれました。

### 3 現在の取り組み

さいたまスーパーアリーナには2000人を超える避難者の方がいましたが、4月1日以降、県内の各避難所に移動し分散されたので、こちら側の体制も組み替えました。具体的には、1400人の方が避難されている旧騎西高校など規模の大きい避難所には週3回相談担当者を派遣し、小規模な避難所は、私たちの仲間が各避難所を巡回して、状況を把握しながら、相談にも対応しています。

当初は、預金の引き出しや生活費のことなど、目の前の生活に関する相談が多かったのですが、みなさん少しずつ落ち着かれていく中で、今後の住宅の問題、仕事をどうするか、原発による被害の補償の問題など、将来の生活の建て直しに関わる相談が増えてきていると思います。

### 4 今後について

避難されている方の中には、被災された際の恐怖や、近親者の方との離別など大変な経験

をされた方が少なくありません。また、慣れない避難生活が長期化していく中で、今後、こころのケアが一層重要になっていくと思います。

私たちのグループには、こころの問題の専門家も多いので、こころの問題に対応する必要な窓口の整備等について、行政とも協議を進めていかなければならないと思います。

また、今後、個々の被災者の方の被害の状況がより具体的に明らかになり、避難生活が長期化していく中で、さらに多様なニーズや問題が生じてくると思います。

行政及び民間の力を結集し、それぞれの長所を活かしつつ、官民連携して、事態の推移に応じたより効果的な支援や対策を講じていく必要があります。

特に、避難されてきた方の多様なニーズに継続的に対応するため、様々な分野の専門家や市民と、行政が連携して、全県的な相談体制を官民連携して構築することが必要です。

そのためには、まずは、民間と行政が意見交換をする連絡協議会を設置し、動かしていく必要があると考えています。

## 5 手紙

さいたまスーパーアリーナの掲示板に、被災された方が書かれた手紙がはってありました。「…ボランティアの方々の一生懸命に動いている姿をみて、私もいつか誰かのお役に立てるようなことをしたいと強く思いました。震災で失ったものは多く、辛く悲しいことはたくさんありましたが、埼玉の方々の優しさに触れ、私の人生で得るものも、またたくさんできました。埼玉で得ることのできた人脈や人を思いやる宝は、地震や津波では壊されない、お金よりずっと大事な私の宝となりました。本当にありがとうございました。」

私たちは、未曾有の大震災と危機を乗り越えて、地震や津波でも壊れることのない、ともに支え合い、誰もが人らしく生きられる社会になることを心から願いつつ、微力ながら、今後も、私たちにできることを考え、活動していきたいと思っています。

## 6 カンパのお願い

最後にお願いです。

これまで、交通費、印刷費等の費用は、参加者個人が負担してきましたが、相談場所が加須市の旧騎西高校など遠隔地となり、支援が長期化していく中で、個人個人の交通費等の負担が次第に重いものになってきています。

そこで、大変恐縮ですが、震災支援ネットワーク埼玉へのカンパという形で、みなさまに、応援いただけると、大変助かります。

カンパの受付は下記口座にて行っております。カンパの額は特に定めませんが、ご協力いただければ幸いです。

当ネットワークの活動を応援いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

### 記

(振込先) 埼玉りそな銀行 浦和中央支店

口座番号 普通預金 No.5405111

口座名義 震災支援ネットワーク埼玉 (SSN)